

双日株式会社 福岡個人株主懇談会（2020/1/20 開催）

質疑応答要旨

<回答者>

代表取締役社長 CEO

藤本 昌義

代表取締役副社長執行役員 CFO

田中 精一

Q 長崎県五島市にホテルを建設する計画を進めていると聞いている。五島の多くの人たちが雇用創出や様々な経済効果を期待している。ぜひ実現してほしい。

A <藤本> 五島で確かにホテル建設について検討している。現在の日本経済は建設業が好調といわれており、建設コストも高騰している中で、予算内での実現の確証を得ることが出来次第、ホテル建設、開業に向け進めていく。地方創生も当社の事業領域の一つとしてやっていきたい。

Q 双日として今後 5G にどのように対応していくのか。

A <藤本> 5G によって大きく変わる自動車の世界で、今後、自動運転の技術はもっと進むだろう。自動運転そのものに投資をしていくということはないが、自動運転を利用したスマートシティの実験をインドネシアでやることを考えている。また、医療分野では、5G によって通信速度が速くなることで、映像を見ながら的確な遠隔手術ができるような時代もやってくるだろう。そういった映像を転送するような技術に対しての投資も考えている。この分野は今後様々な新しいアイデアが出て、いろいろな変化が起こると思うので、それに対応できる体勢を整え、様々な発想でそれを事業化していきたい。

Q 藤本社長がベネズエラで自動車組立製造会社の社長として、大きな決断を迫られた経験、苦勞してきた経験を通して、どのようなものを得られたのか。

A <藤本> 社長の決断は誰かに委ねることはできない、自分で決めなければいけないということがどれだけ大変なことか分かった。そして人を信用することを学んだ。前任の大臣に裏切られた経験もあった中、初めて会った大臣を信用してよいのかどうか、という判断を迫られる場面で、この人は信じられるとの自分の判断を信じた。一つの賭けに出たわけだが、結論的には間違いではなかった。自分に人を見る目があつたと確認できた。

以上